

平成30年度 第1回新見市水道事業運営審議会 会議録

【日 時】 平成30年9月24日（月） 13：30～15：30

【場 所】 新見市役所 南庁舎3階 大会議室

【出席者】

- ・ 委 員 小河委員、小郷委員、西川委員、中川和洋委員、豊田委員、林和美委員、中川初美委員、立花久恵委員、三上委員、松田委員、大西委員、林司朗委員、赤木委員、山崎委員、内田委員、長江委員 計16名
(欠席・・・赤坂委員、妹尾委員)
- ・ 市関係者 池田市長、小林建設部長
- ・ 事務局 大西課長、吉川課長補佐、深田主査、中田主任

【議事次第】

- 新見市水道事業運営審議会委嘱式
 - 1. 開会
 - 2. 委嘱状交付
 - 3. 市長あいさつ
 - 4. 閉会
- 第1回新見市水道事業運営審議会
 - 1. 開会
 - 2. 自己紹介
 - 3. 会長及び副会長の選出
 - 4. 審議会への諮問
 - 5. 議題
 - (1) 新見市の水道事業の概要について
 - (2) 上水道事業の概要について
 - (3) 簡易水道事業の概要について
 - (4) 水道事業のスケジュールについて
 - (5) 水道料金の状況について
 - (6) その他
 - 6. その他
 - 7. 閉会

【配布資料】

- ・ 新見市水道事業運営審議会委員名簿及び配席図
- ・ 新見市水道事業運営審議会規則
- ・ 諮問書
- ・ 第1回新見市水道事業運営審議会資料
- ・ <参考資料>水道事業の認可等の経緯

【会議内容】

○新見市水道事業運営審議会委嘱式

1. 開会

大西課長

2. 委嘱状交付

池田市長

3. 市長あいさつ

池田市長

皆様こんにちは。皆様方には何かとお忙しい中、今日は休みという中をこの新見市水道事業運営審議会委員委嘱式、そして第1回目の新見市水道事業運営審議会にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

また、先程、委嘱をさせていただきましたが、快くお引き受けいただきましたことに対しましても心よりお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、先般7月の西日本の豪雨におきましては、この新見市も草間台簡易水道、井倉簡易水道と非常に被害を受けまして、長期間にわたって断水という非常にご不便、ご迷惑をおかけしたところでございます。また、今年は特別猛暑でございまして、本当に被災者の方々にはご迷惑をおかけいたしました。そういう中におかれましても、地域の皆様方は助け合い、支え合い、そして絆を十分に発揮していただきまして、お力添えを賜りましたので、大変そういう点で感謝を申し上げ、厚く御礼申し上げる次第でございます。

本市の水道事業を取り巻く状況でございますけれども、水道施設の老朽化、そして耐震化等が求められる中、少子・高齢化が進みまして人口減少、そして節水意識の高揚等の促進によりまして、使っていただいている水道の使用量が低下をしております。そのことによりまして、いただいております水道の使用料も料金のほうも減少してまいっております。また、更なる経営改革など、厳しい環境にあるところでございます。

そうした中、平成19年度に国の簡易水道事業に対する補助金要綱の一部改正がございまして、平成31年度末までに簡易水道事業と上水道事業を経営統合するよう要請されまして、現在、その準備作業を進めておるところでございます。

このため、本市におきましても、水道の安定供給と独立採算に基づく経営の健全化を維持できるように、水道料金のあり方など、水道事業経営について、検討する必要がございます。

水道事業は、市民生活に直結した不可欠なインフラでございます。本市の健全な水道事業の運営のためにも、慎重なご審議を皆様方に賜りまして、そしてお力添えを賜りますようによろしくお願い申し上げます。どうかよろしくお願い申し上げます。ありがとうございます。

5. 閉会

大西課長

○第1回新見市水道事業運営審議会

1. 開会

大西課長

2. 自己紹介

出席委員全員が自己紹介。

3. 会長及び副会長の選出

会長：中川和洋委員 副会長：立花久恵委員

4. 審議会への諮問

池田市長（諮問書朗読）

・諮問事項「健全な水道事業の運営について」

5. 議題

(1) 新見市の水道事業の概要について

事務局説明

・第1回新見市水道事業運営審議会資料P1及び＜参考資料＞水道事業の認可等の経緯を説明

<質疑応答・意見と回答>

■委員 給水区域図の白色の部分の水道はどうなっているのか。ここにも民家は入っているのか。

□事務局 色を塗ってあるのが上水道、簡易水道、それから専用水道。色をぬってないところでも100人以下の飲料水供給施設、個人で井戸を掘ってもの、山水を引いているところなど、市の管理していない水道を持つ

ている方もいる。

■委員 それぞれ個人の水道ということか。

□事務局 個人の水道の施設と、もう一つは市が設置して地元が指定管理している施設があり、市が指定管理を出している施設で言うと約22施設ほどあり、給水人口的には500人程度になる。
また、集落で作った施設も約20施設あったと認識している。一人でも山水を引く方、井戸から引く方もいるといった状況である。

(2) 上水道事業の概要について

事務局説明

・第1回新見市水道事業運営審議会資料P2～8

<質疑応答・意見と回答>

■委員 有収率が上がっているということで、これは配水管などの漏水を防止することによって上がるのか。他の要因はないのか。

□事務局 有収率を上げる最も有効な手段は漏水を無くすことが大半を占めているが、H29年度に3.1%有収率が上がったということは、漏水を直していった、またその年は漏水が少なかったということになるかと思う。他に考えられる要因については、火災によって水道管につながっている消火栓の使用が影響することはあるが、大半は漏水によるものと考えている。

■委員 4ページの平成29年度決算状況ということで、平成28年度と平成29年度の数値の比較はあるが、事業なので、平成28年度が終了したときに平成29年度の実行計画のような計画を立てていると思うが、それに対する平成29年度の実績率とかそういうものがここに入っていれば、計画に対する実績がどうか、その差は何か、どういう問題があるかというのがよく見えてくるのではないか。そういう資料があるのであれば、次回にでも見せていただきたい。

□事務局 次回提供させていただければと思う。

■委員 この資料を見ると、成り行きのことしか書いてないので、これでは事業としてやっていけないと思うので、次のページに将来の人口予測があるが、平成47年の時に人口が今の3万人から1万9千人ぐらいに減ってしまう。そのときに対する水道事業の事業計画についても中・長期に考えないと、水道の値段がどんどん上がっていくような状況になりかねないので、そういう意味も含めての今回の水道事業の検討だと思うのでよろしく願います。

(3) 簡易水道事業の概要について

事務局説明

- ・ 第1回新見市水道事業運営審議会資料P9～14

<質疑応答・意見と回答>

- 委員 一般会計からの繰入について、平成25年度以前から統合を見越して繰入を行っているのか。
- 事務局 簡易水道自体の料金収入が少なく、逆に資本的に投資する金額が多いということで、統合ということに関わらず以前から一般会計からの繰入というのは行っている。

~~~~~ 休 憩 ~~~~~

(4) 水道事業のスケジュールについて

事務局説明

- ・ 第1回新見市水道事業運営審議会資料P15～16

<質疑応答・意見と回答>

- ・ 質疑なし

(5) 水道料金の状況について

事務局説明

- ・ 第1回新見市水道事業運営審議会資料P17～19

<質疑応答・意見と回答>

- ・ 質疑なし

(6) その他

- ・ なし

6. その他

次回審議会

日 時：平成30年10月17日（水）13：30～15：30

場 所：新見市役所 南庁舎3階 大会議室

7. 閉会

立花副会長

みなさま、本日はお疲れ様でした。今後も慎重審議を行っていきたいと思いますのでご協力お願いします。